

YOUKIKIHI'S

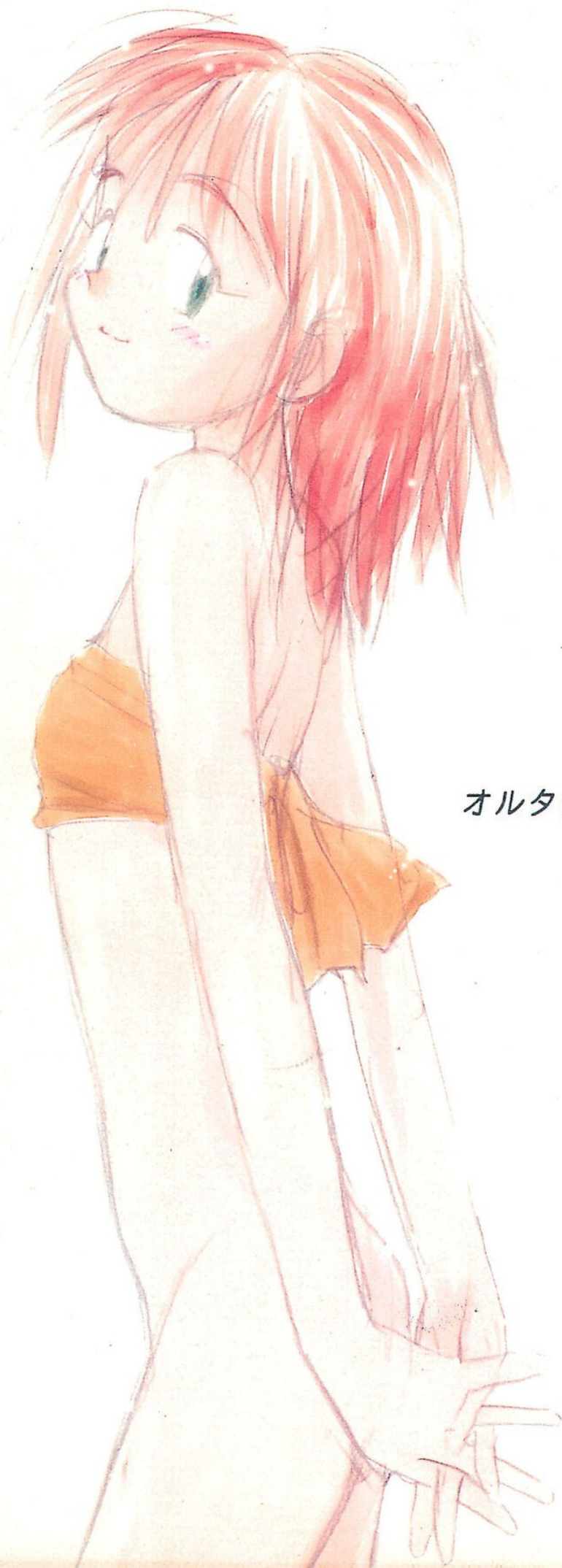
ALTERNATIVE

オルタナティヴ ザ ファースト

成年
コミック

陽気婢

1

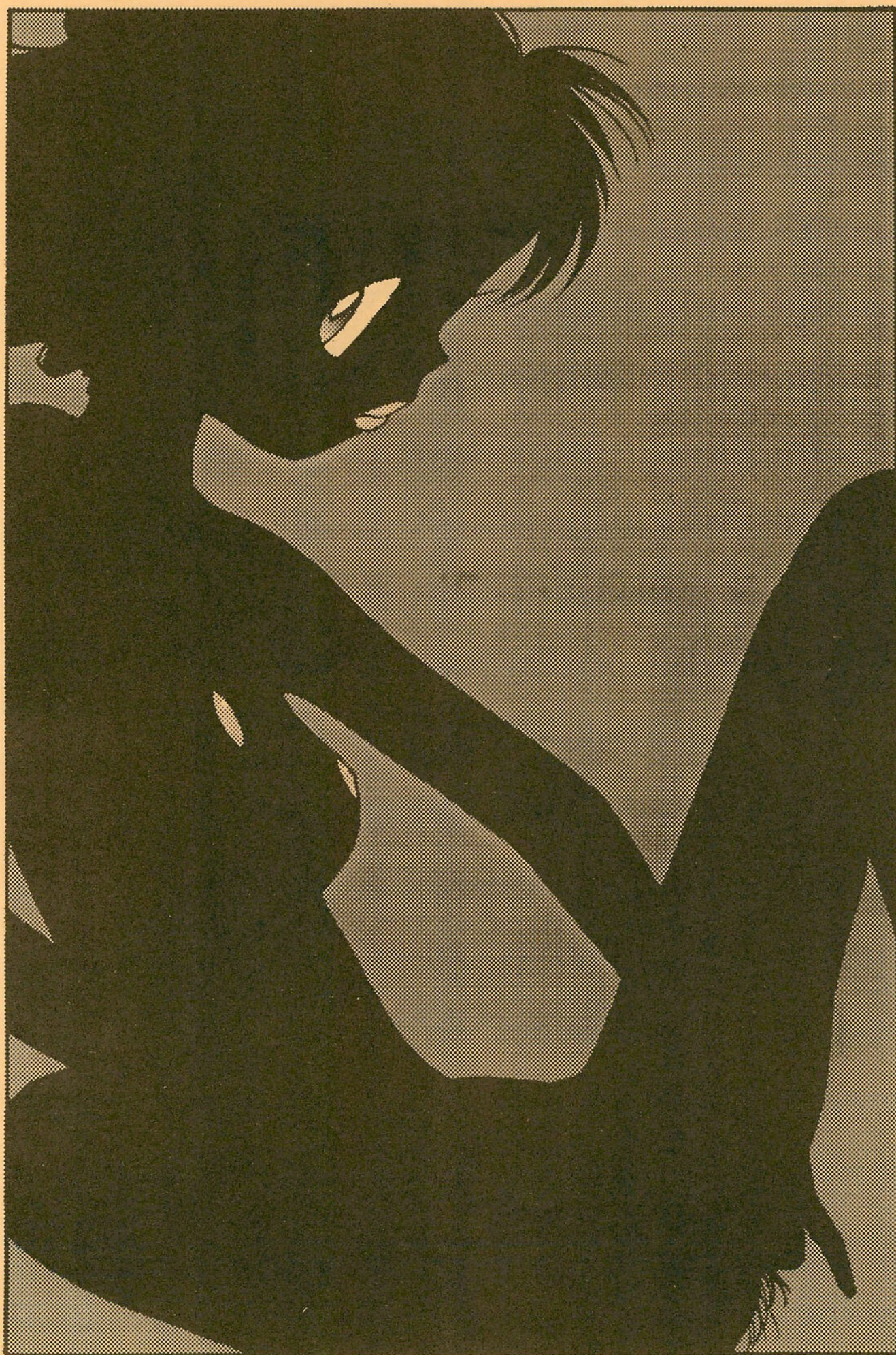


オルタナティブ【alternative】

(代わりうるもの・代替物の意)
これまであった伝統的なものとは別の方策。

『講談社日本語大辞典』より



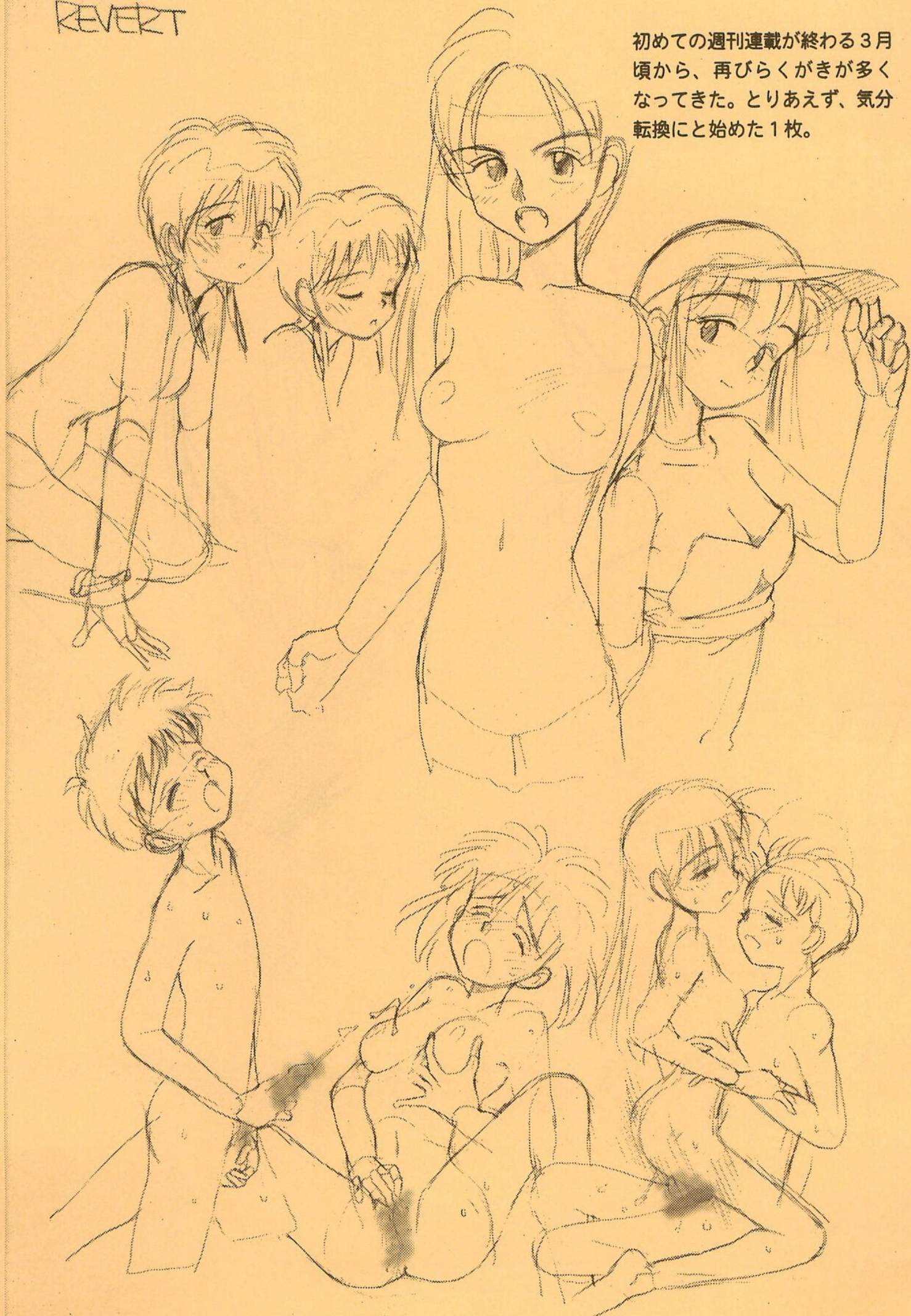


色里悲の

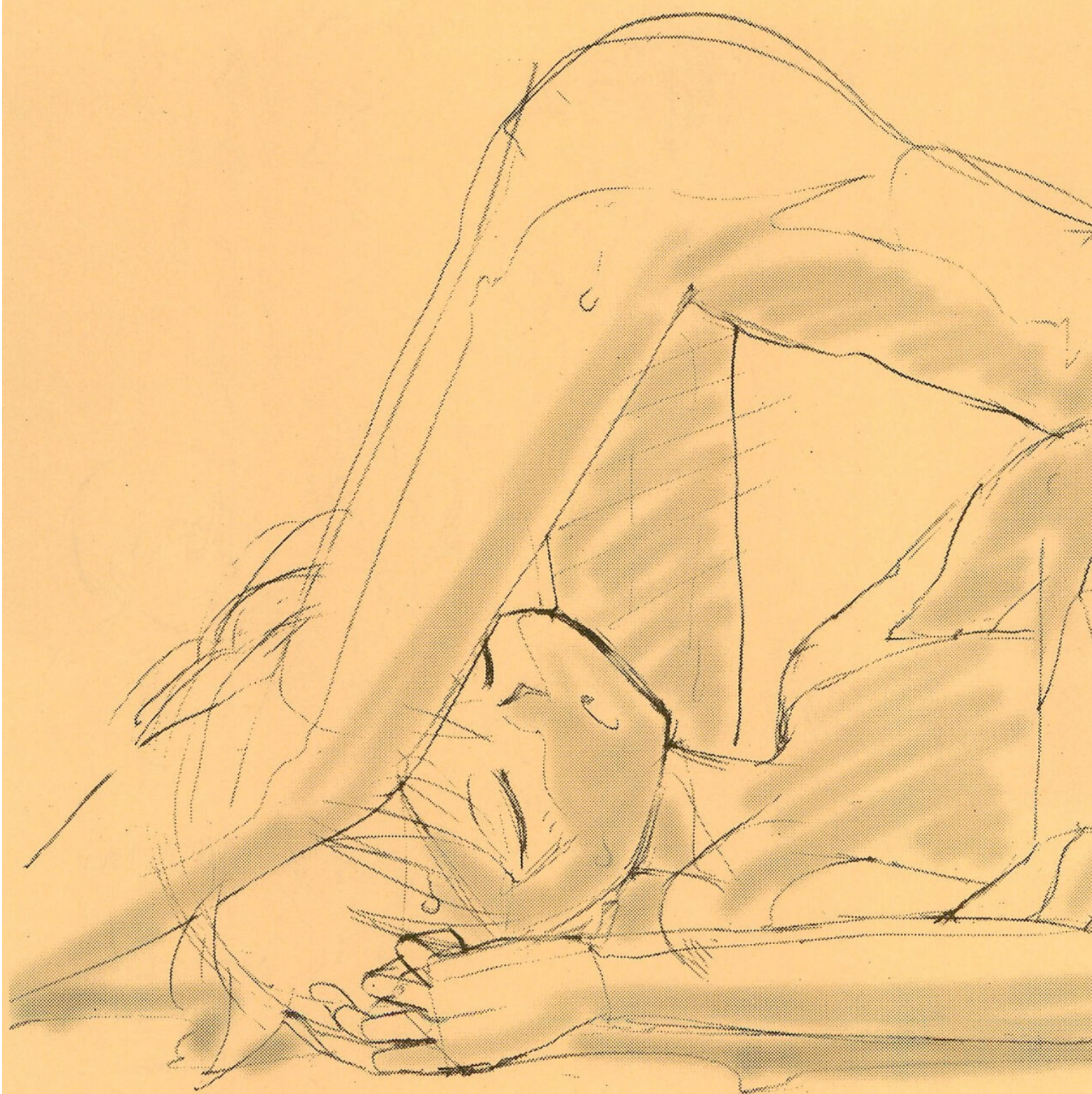
犯すにふい。
まじなわーちざん
に

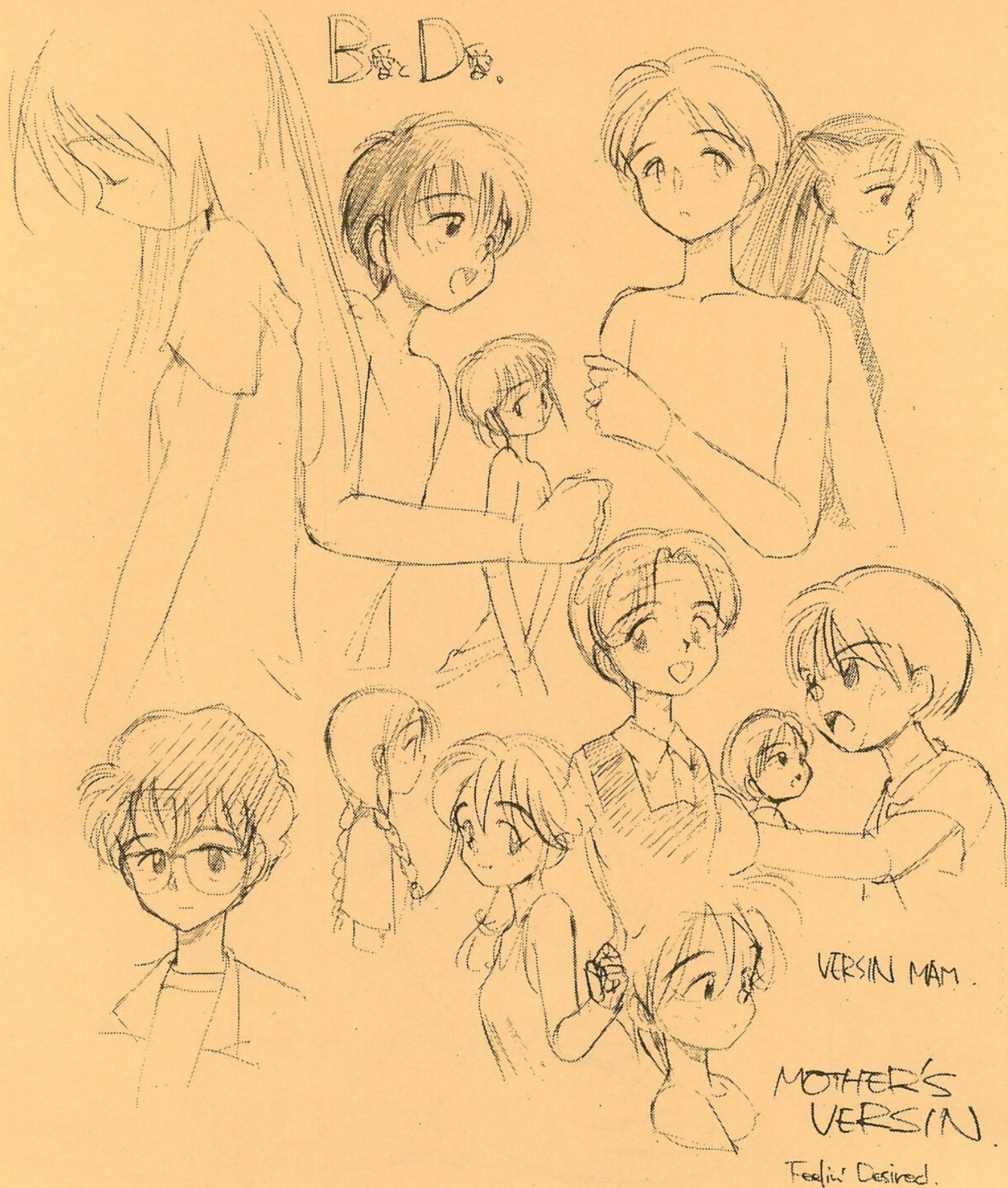
陽気嬢

初めての週刊連載が終わる3月頃から、再びらくがきが多くなってきた。とりあえず、気分転換にと始めた1枚。









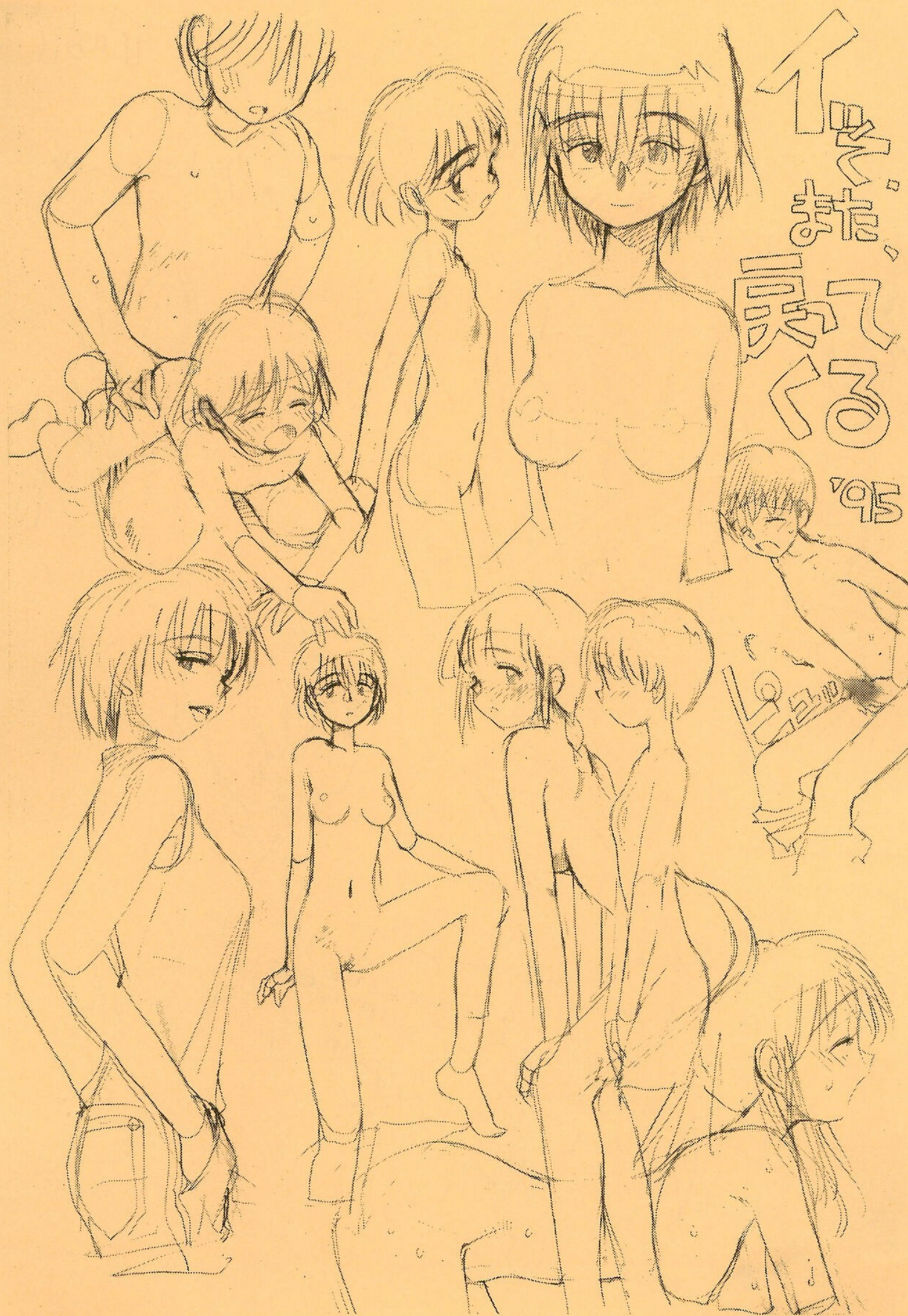
B愛は存在愛、D愛は欠乏愛。
人間性心理学のマズローが唱える概念。





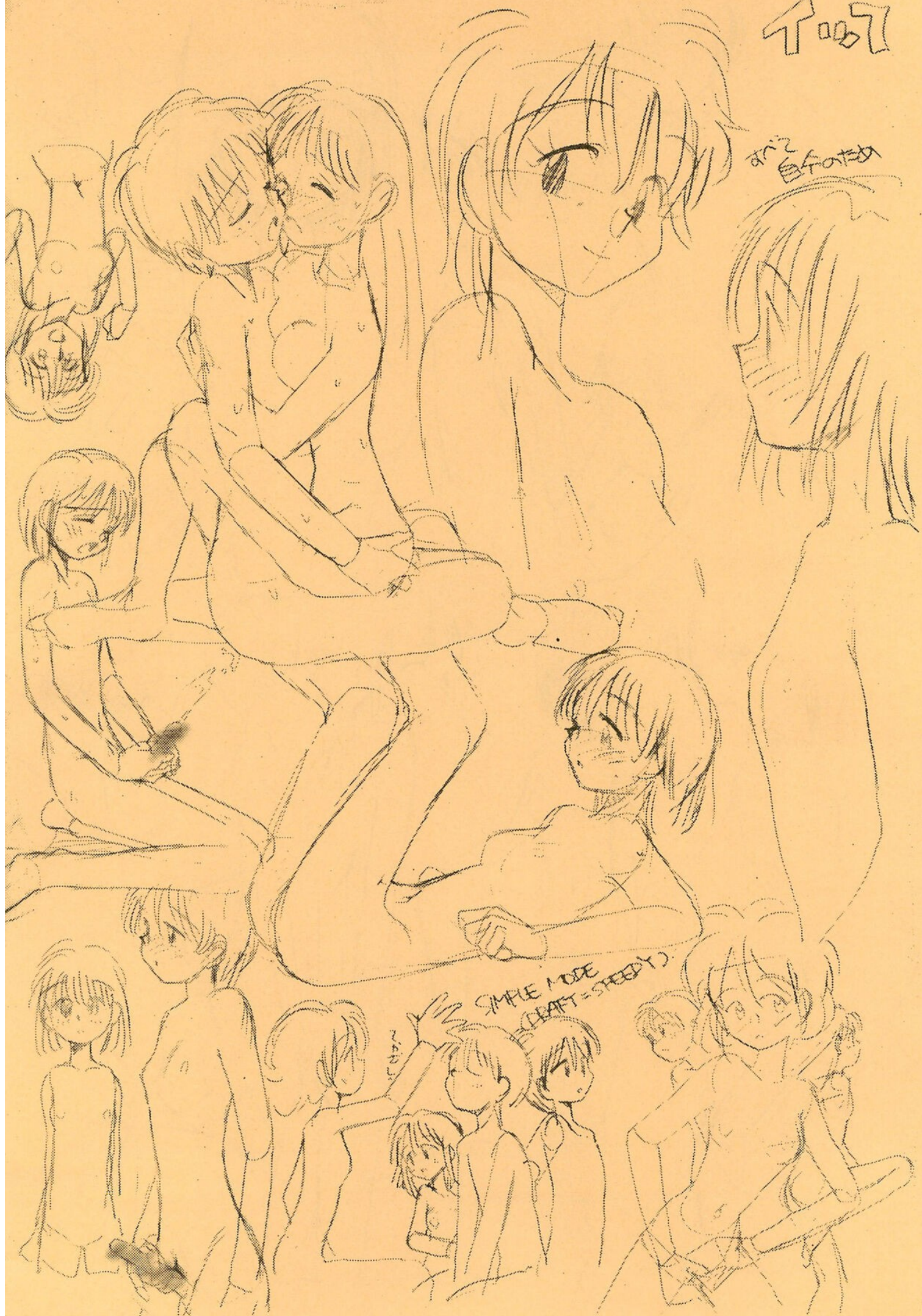
左のページの文章、なんか色々あって自分を見失いがちだったので、自分に言い聞かせるつもりで書いた「イッてまた戻ってくる」の言葉。イッたきりになりかねない感じだった。まあ、ホントいろいろあります。……恥ずかしいなあ。

イ
ま
た、
戻
る
'95

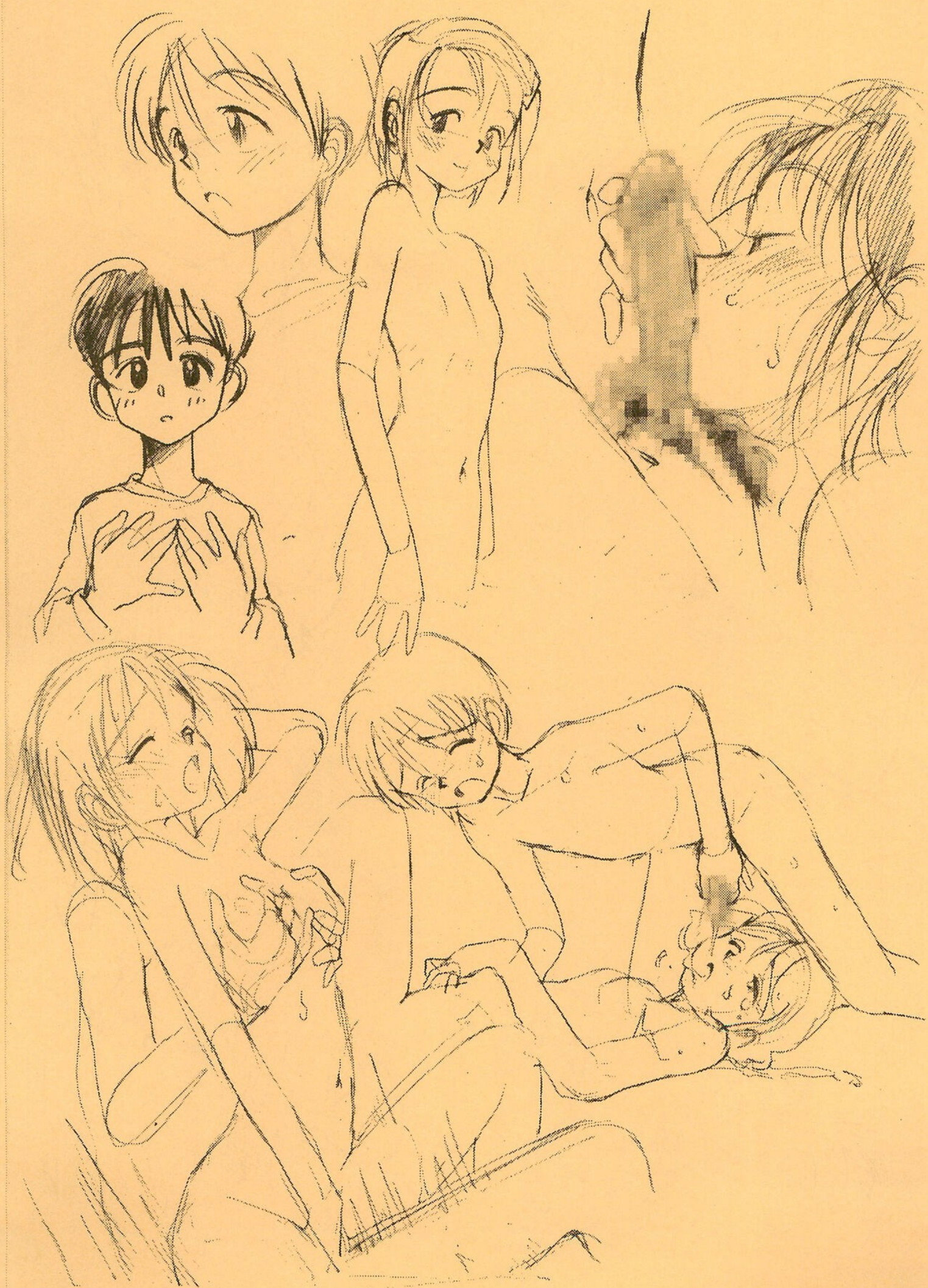


1057

and
BROTHER

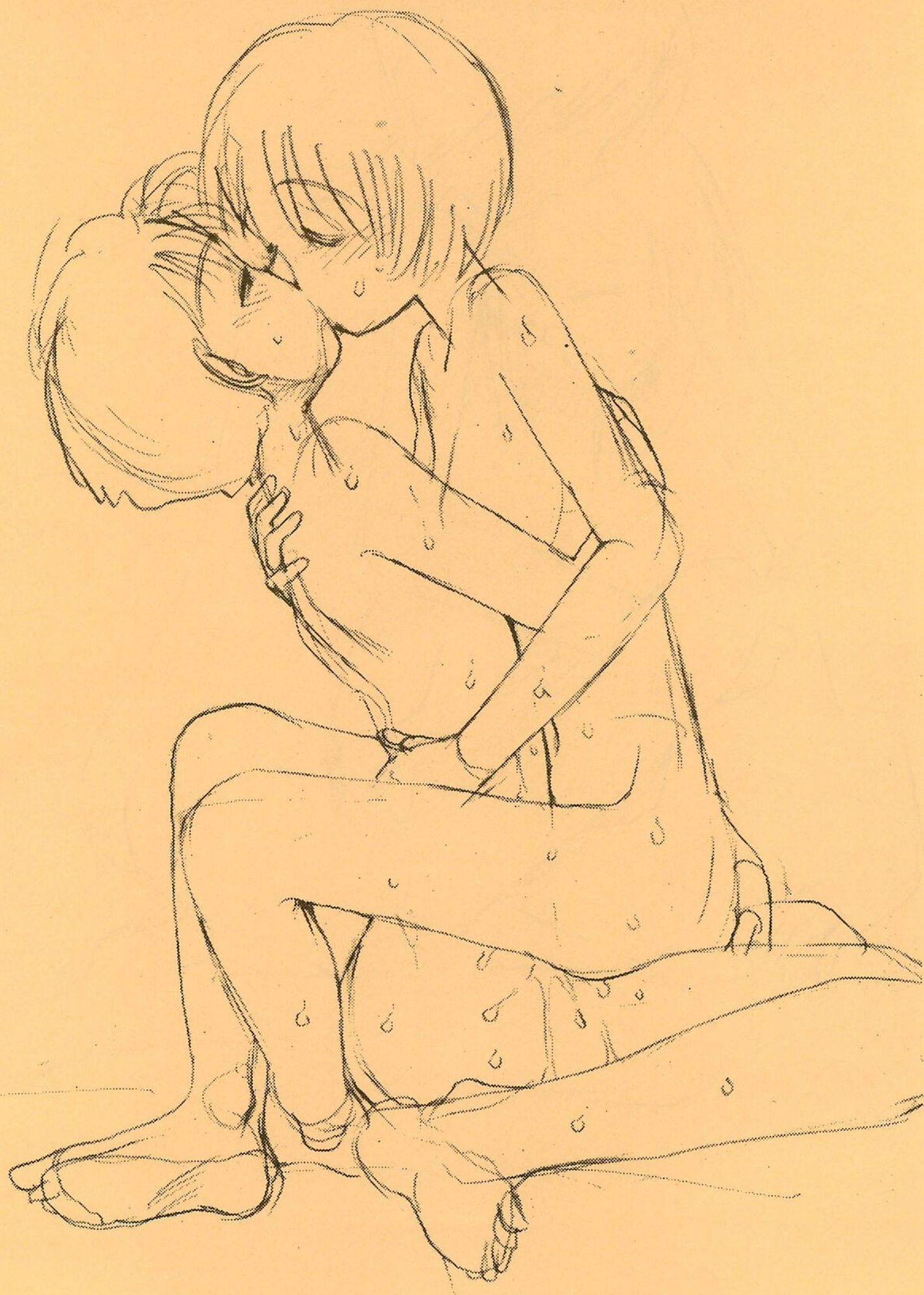


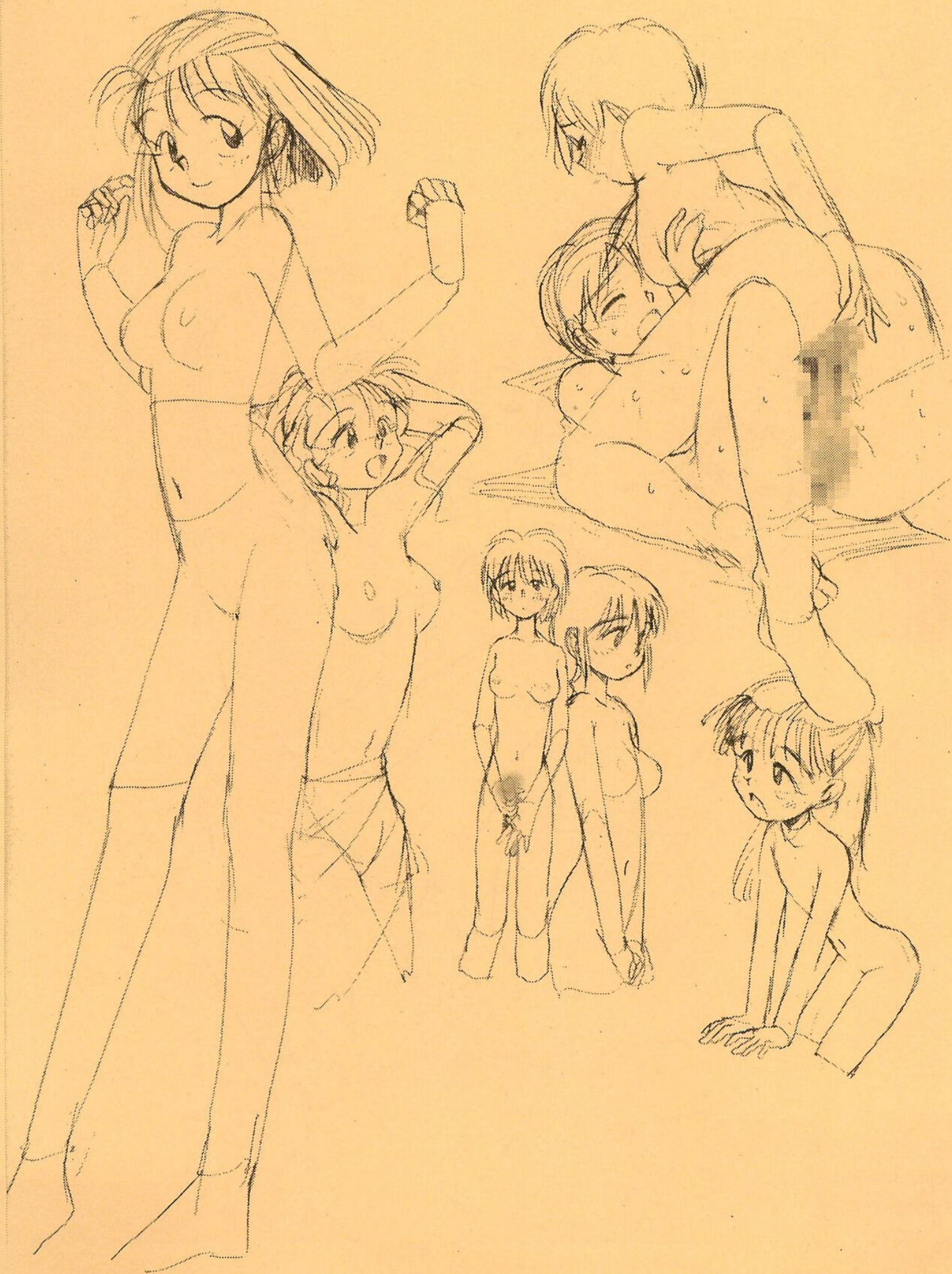
SIMPLE MODE
(CRAFT = SPEEDY)

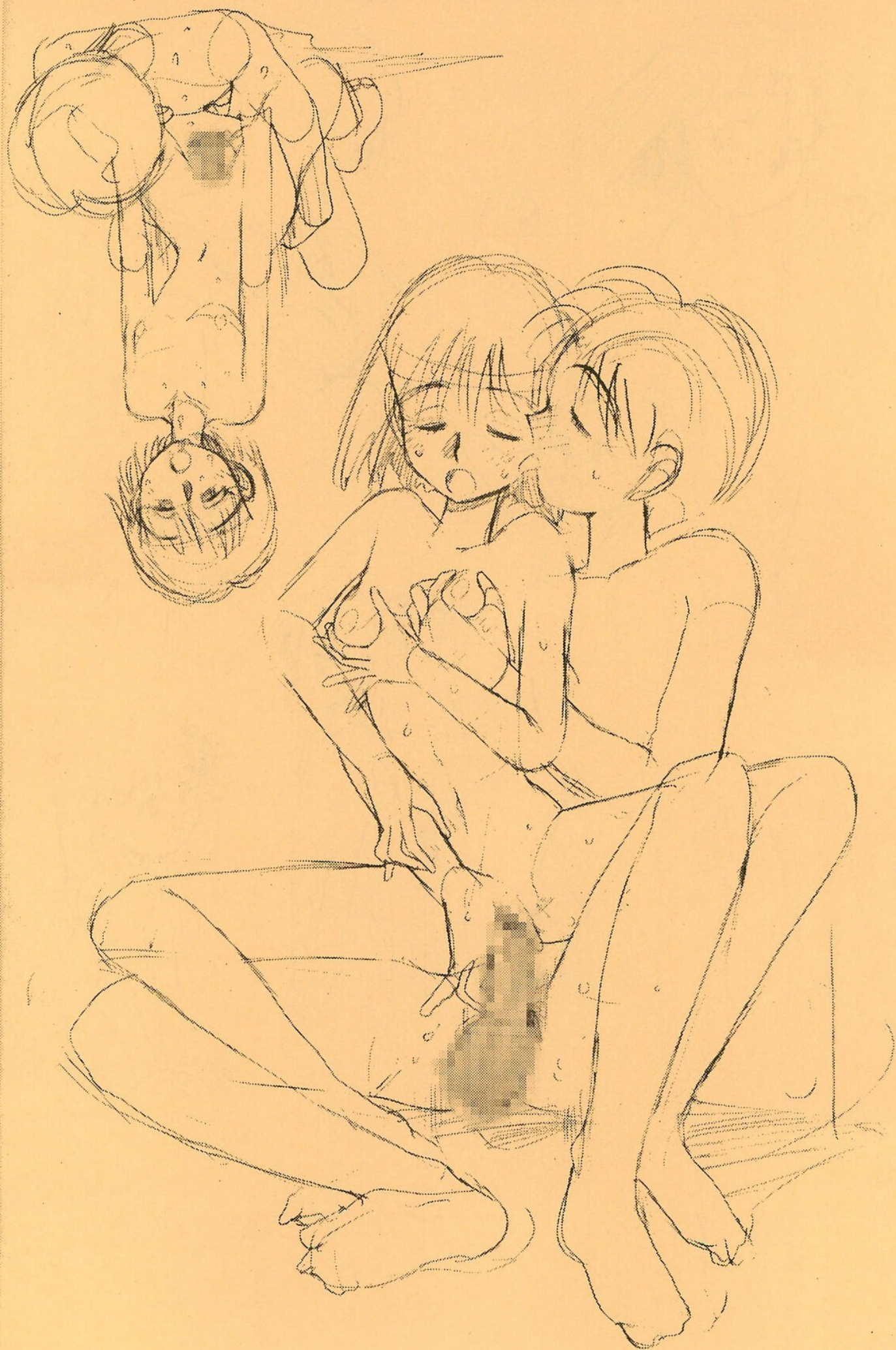


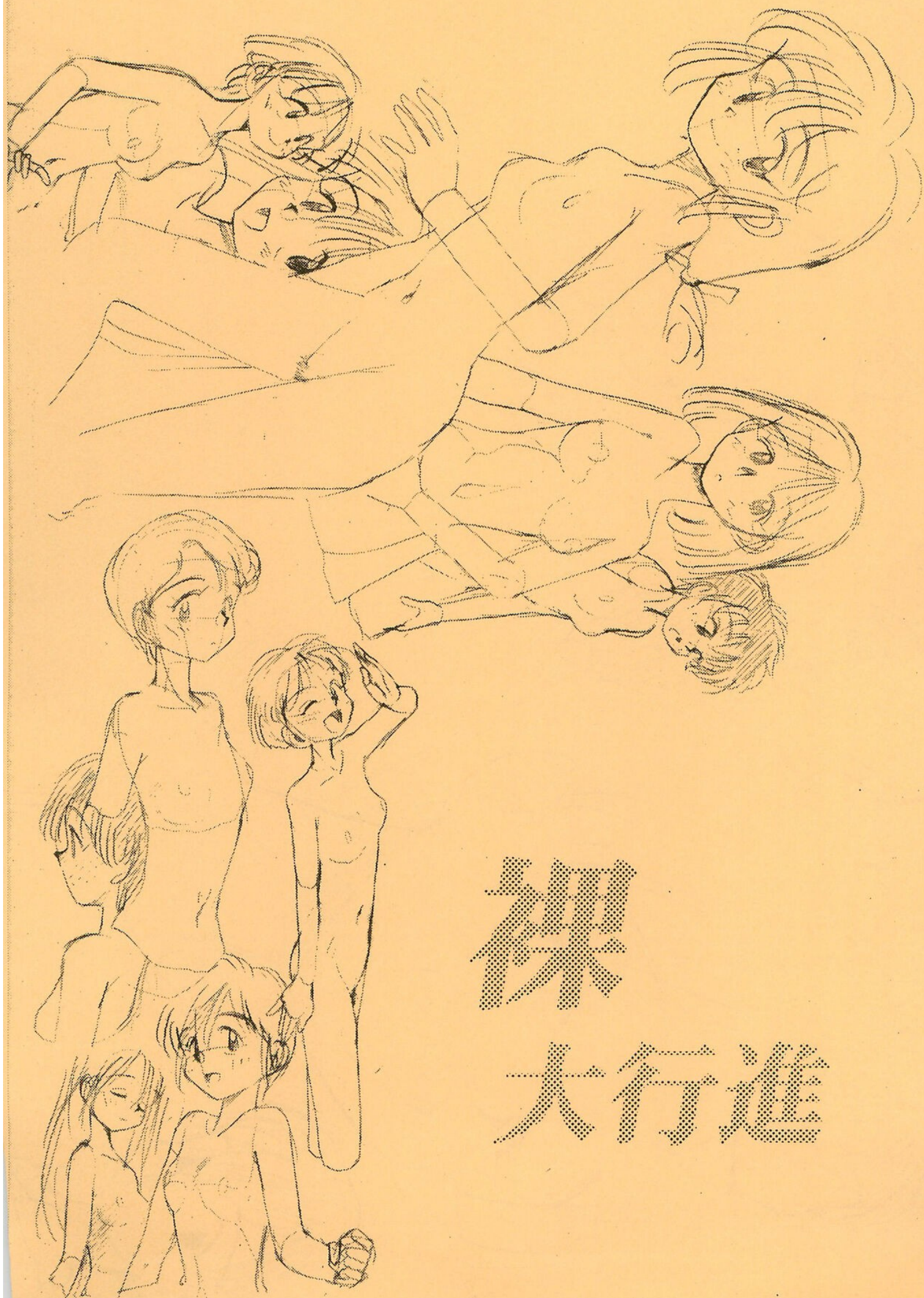




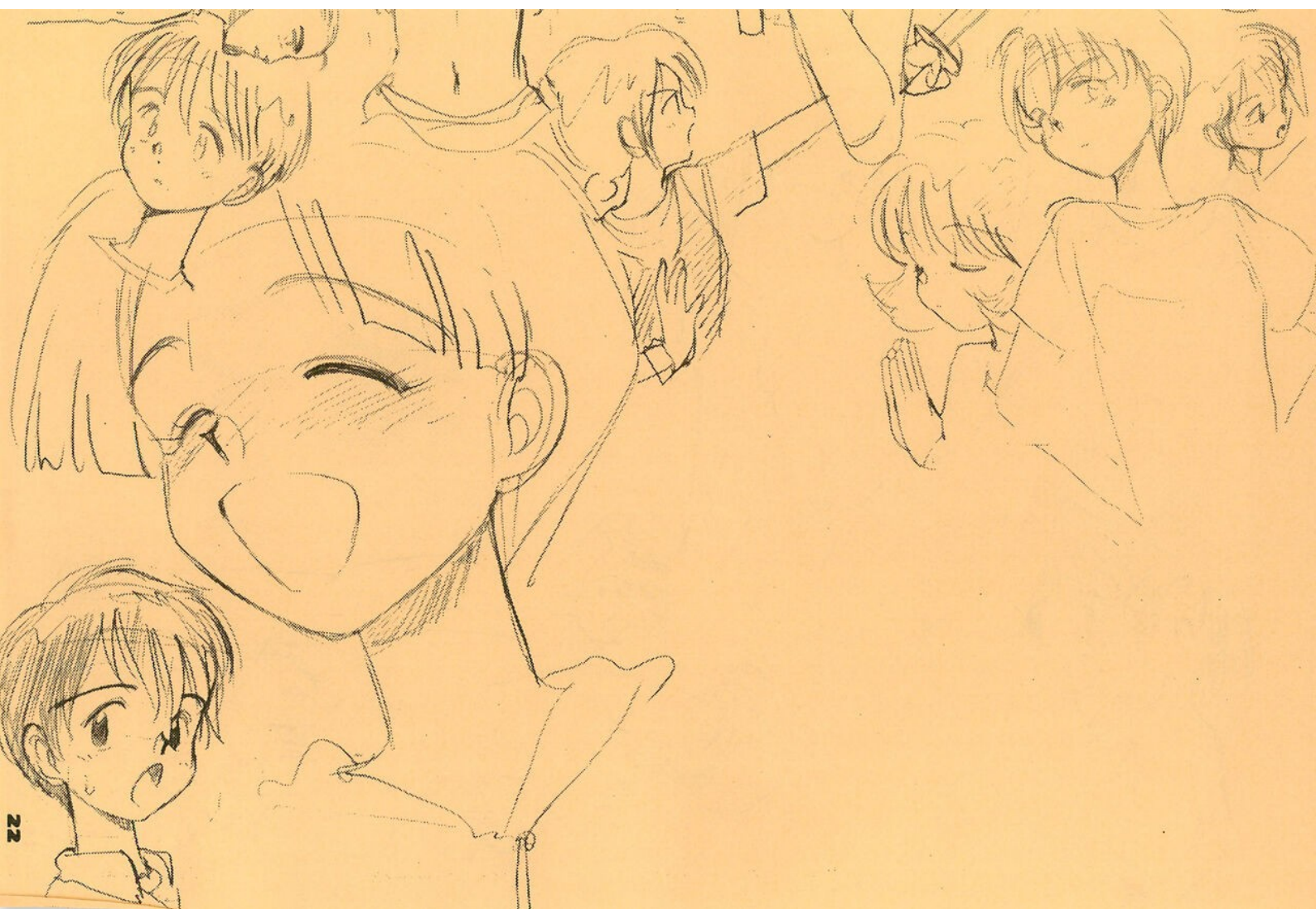


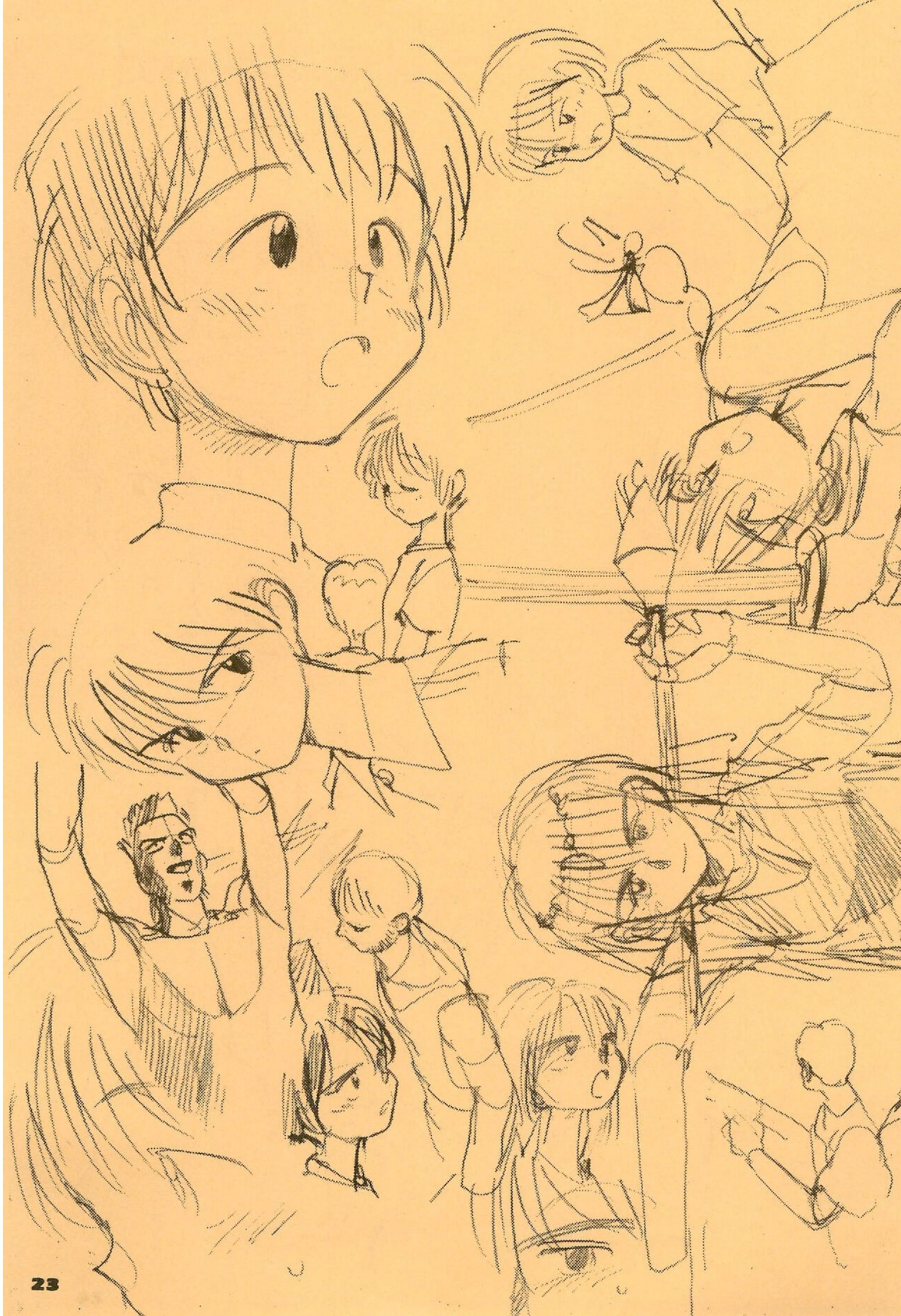






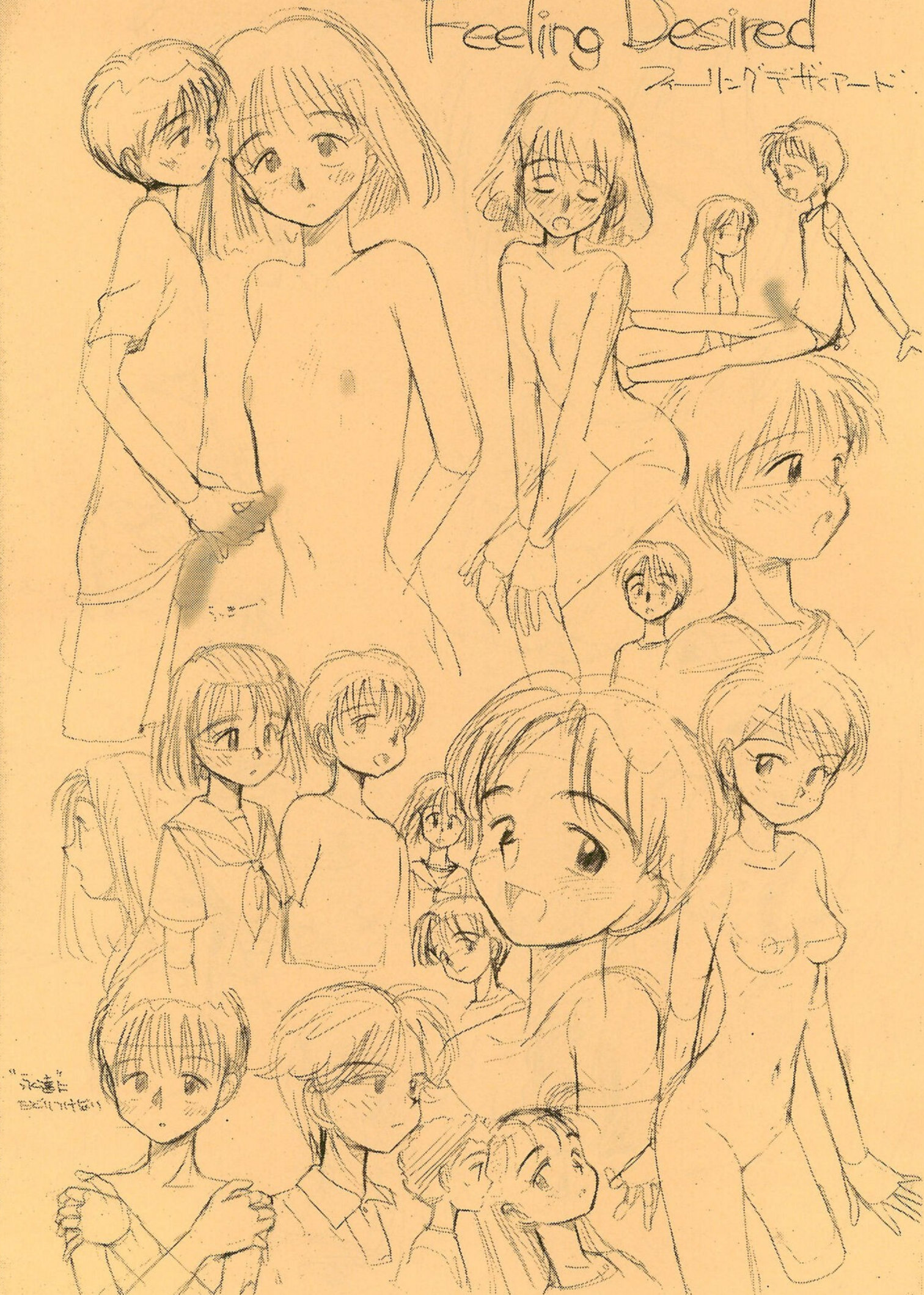
裸 大行進





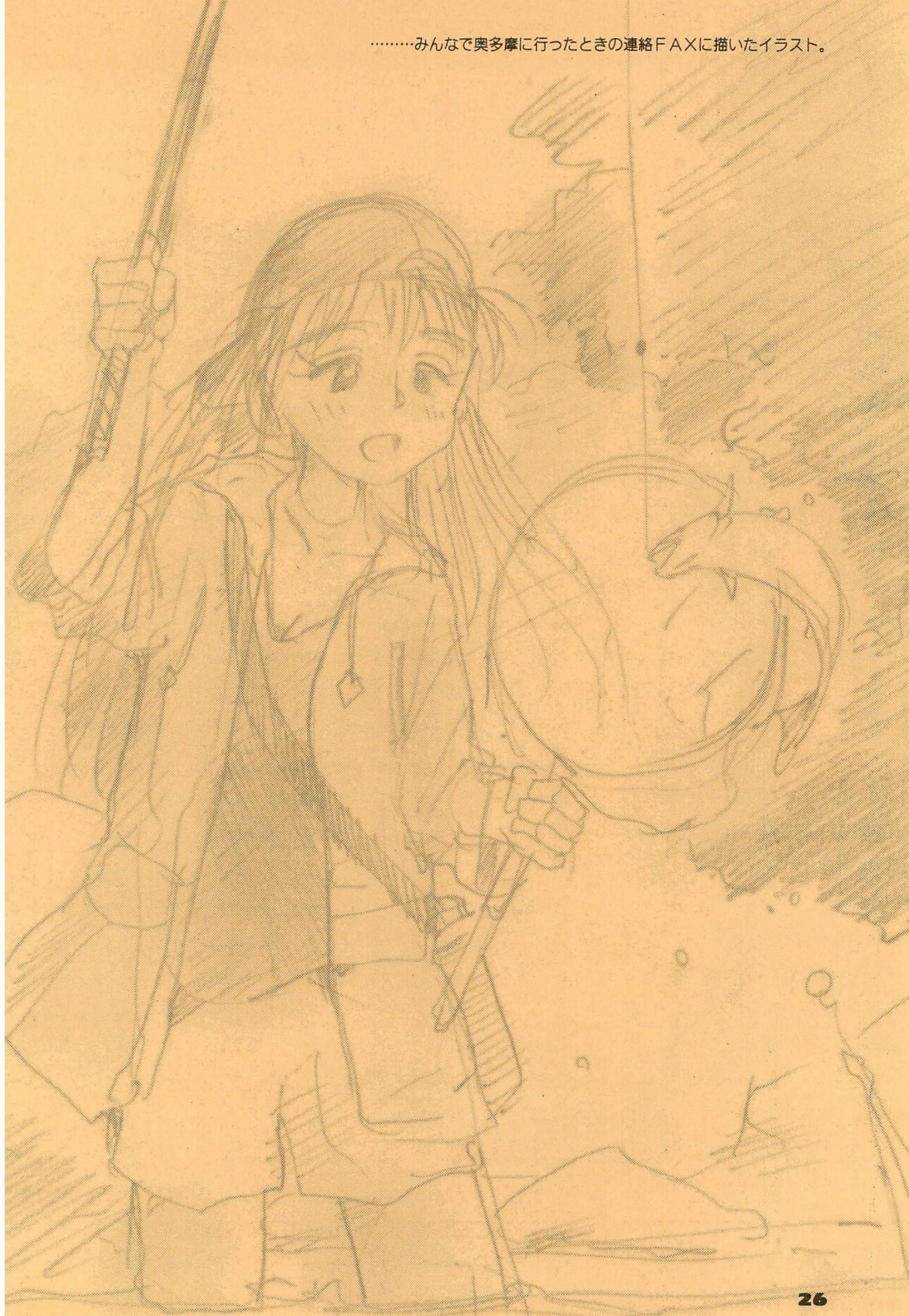
Feeling Desired

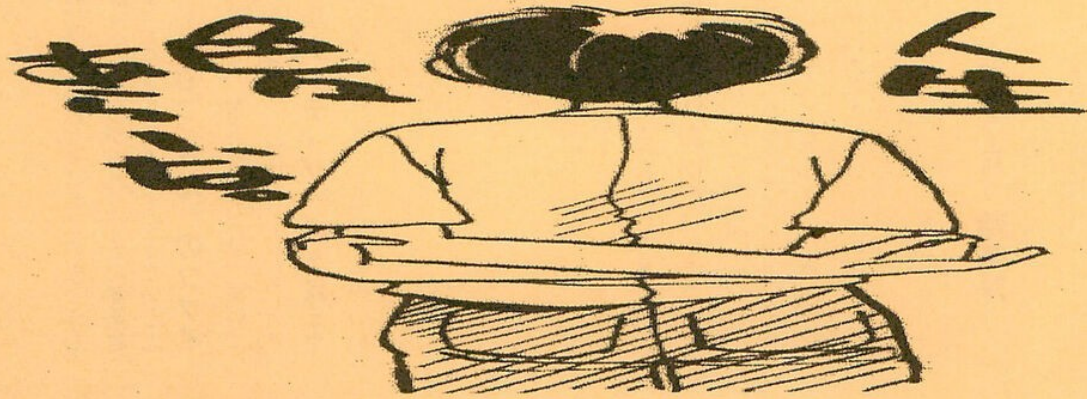
フルタイムガード





…………みんなで奥多摩に行ったときの連絡FAXに描いたイラスト。





1

まず最初に、この小冊子のタイトルについて。

冒頭でも引用しように、「オルタナティブ」とは今までと違う、何か別のやり方という意味で、よく化石燃料にとって代わる太陽エネルギーとか、水素エネルギーとかを指して代替エネルギーなどというように使われる言葉です。「オルタナティブなテクノロジー」なんて言ってるね。

みんなこんな感じでやってるけど、ちょっと待って、こういうやり方はどうだろう？というふうに新しいアイデアを思いついたり加えたりすることが「オルタナティブ」な方向性だと言えるかもしれない。そうそう格式張ったものでなくとも、人間の思考パターンとしてはごくありふれたもののひとつだとも言えます。で、よくよく考えてみると、以前魔訶不思議先生と一緒に出した『どつきん』という同人誌も、世間でやれ猥褻だ自主規制だと騒がしくなってきた頃に、「じゃ、こういうやり方はどう？」という問いかけの意味を込めていたわけで、ある種「オルタナティブ」な同人誌だったわけですね（知らない人のために簡単に紹介すると、『どつきん』は「服を脱がないでエッチする」というコンセプトで魔訶不思議、陽気婢の二人がそれぞれ短編を寄せて作った創作誌です。いわゆる猥褻の基準が視覚的なものを過度に排斥しがちなのに反発して描きました。見た目がどうであれ、変態的なものは変態的だし、猥褻は猥褻でいい

2

じゃんかと思ってる。大島監督じゃないけど、でも、あの本でうまく表現できたかどうかは分かりません*注）。

ではこの小冊子のタイトルを、そのものズバリ「オルタナティブ」としたのは何故かというところ、それは、別に上に書いたような仰々しい理由とか思いつきがあつたわけじゃなくて、単純に「ちゃんとした本を作る時間がなかったから」です。

……なんじゃそりゃあつ、ここまでちゃんと恰好つけて書いてきた前置きはなんやつたんやあつ、とか言われそうですがまあそれはそれ、今回とにかく本だけは出したい事情がありました。

「ちゃんとした本」の代替物として、このようならくがき本を作ったのは、もう長いこと自分の同人誌を出してなくて即売会でうちのブースに来てくれる人に不義理をはたらいてるなあ、と感じていたのといつも同人誌を頂く知り合いの作家さん達にもお返しをしなければと考えることでした。なんにせよこの文章があなたに読まれているということは、おそらくその目的がいかにほどかは達成されたことでしょうか。お返しにしてはえらく貧相な本ではありますが、あとはその分商業誌でがんばりますのでよろしくお願いします（はは）。

現在（7月19日）、陽気婢はコミケ前に締め

3

切りの商業原稿を3本抱えていて、なんとか描きあげたら8月中にはどの作品も日の目を見えることと思います。うち『快樂天』掲載の作品は9、10月と続く短期集中連載の予定で、以前から描こうと思ってた話なのでちよつとがんばりたいなあ……、とか思ってたマス。9月にはワニマガジン社さんから待望の短編集も出るし、結構仕事しますよね（自画自賛？

で、10月には少し休みをとって普通免許の合宿でどつか温泉のあるところに行こうかな、などと考えています。そう、陽気婢つてばクルマの免許もつてなかったんですよねー。そんなわけで、こころある担当編集者のみなさん、よろしく（ワニさんからは既に了承済み）。



同人誌のほうは、正直なところこの先どうなるかわかりません。余裕があれば、また商業誌で描けないような作品を発表していきたいと思うのですが……。『どつきん』のファイナルも出したいし、個人的に同人誌で描いてみたい話もあるんですけどね……。でもまた『オルタナティブ』の2号とかになっちゃったりして。ま、それはそれでいいか。

さて、らくがきの途中でもポツリポツリ書きましたけど、ここ一年半位のあいだにほんつ……とに色々ありました。今までわりと平穩無事な生活をしてきたのにねー。なんか世間のほうも騒がしくなってます。ああ、それでもわたし自身もつともーつと色々あつて欲しいぞ！

……って、わけがバイチャ。

95年7月 陽気婢



JINSEI IROIRO

注1 実際のところ現代日本文化において、「性器」の直接返答に関してはマンガは多大な貢献が出来ると思われ、性交、性交表現についても可能性は尽きるものじゃないと思っています。
注2 同人誌「どつきん」に収録された各作品はその後雑誌に再録され、現在うち魔術不思議先生の作品は「猫じゃ猫じゃ」第3巻（大洋図書刊）、陽気婢の作品「リハール」は「ちよつと日な課外授業」（フランス書院刊）で読むことができます。

オルタナティブ 1

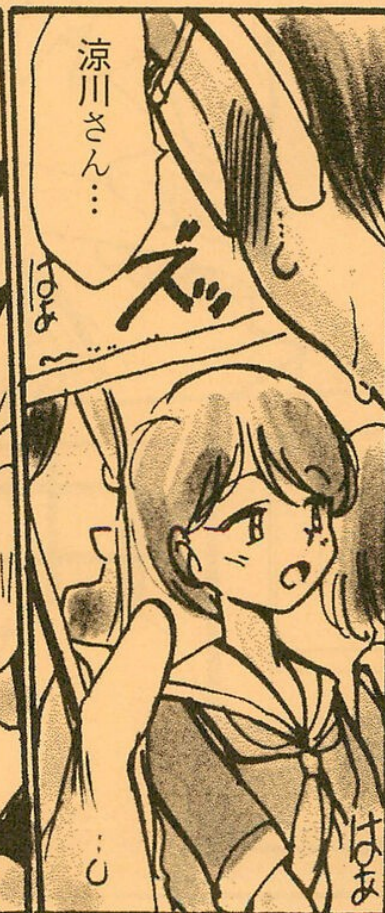
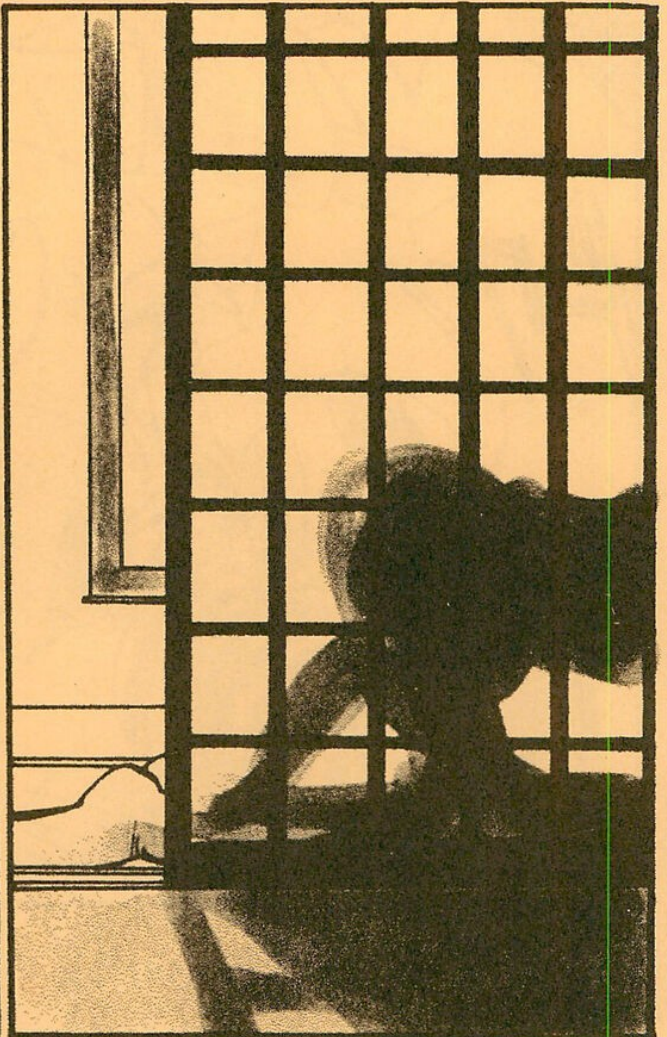
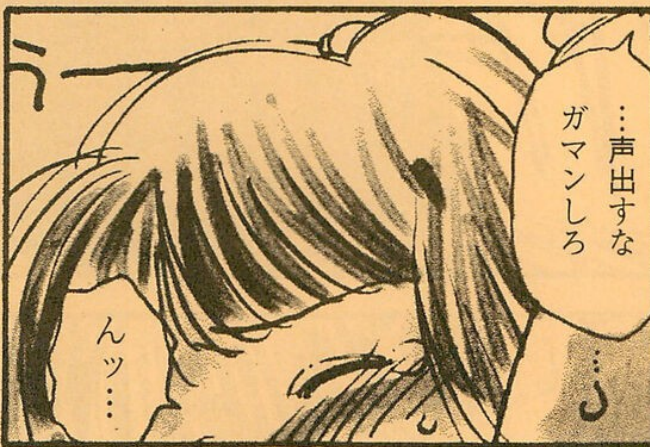
1995年7月30日 初版第1刷発行

著者 陽気婢

発行者 MAY CLUB / すまた昇天

印刷所 イシクラADルーム

……ご意見、ご感想は著者が執筆する各商業誌の編集部まで（知ってる人は本人に直接）。





SELECTED ROUGH SKETCHES BY YUKIHI
1995.3-7

For Adults